

保護者向け 放課後等デイサービス評価表

はい…○ どちらともいえない…△ いいえ…× 該当事象がない… -

	○	△	×	コメント
<b>環境整備・体制整備</b>				
1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	2		運動するスペースがあればなおいいと思う
2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1		
3 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		エレベーターはあるが、車いすの方が2階にあがれるのかはわからない
<b>適切な支援の提供</b>				
4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	9			
5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			
6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	1	
<b>保護者への説明等</b>				
7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9			
8 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9			
9 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	9			
10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3		
11 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			
13 定期的に会報やホームページ等で活動概要や行動予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2		
14 個人情報に十分注意しているか	9			
<b>非常時等の対応</b>				
15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	7	2		
16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	4		上靴が必要の対応はある

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-

スタッフ氏名	A	B	C	D	E	コメント
<b>環境整備・体制整備</b>						
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○	○	○			
2 職員の配置数は適切であるか	○	○	○			
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	×	△	△			
<b>業務内容</b>						
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	△	△	△			振り返りができていない
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	-	-	-			
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	-	-	-			
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	-	-			
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○	○	○			
<b>適切な支援の提供</b>						
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○			
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	○	○			
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	△	△			
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○	○			
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	△	△			
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○			
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	○			
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	△	△	△			支援終了後は、話ができておらず、翌日になってしまう
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○	○			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	○			

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 はい・〇 どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-

スタッフ氏名		A	B	C	D	E	コメント
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っているか	〇	〇	〇			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか	〇	〇	〇			
21	学校との情報共有(年間計画、行事予定等の 交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎 時対応、トラブル発生連絡)を適切に行っている か	△	〇	〇			
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か	-	-	-			
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定 子ども園、児童発達支援事業所等との間で情 報共有と相互理解に努めているか	-	△	△			
24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それま での支援内容等の情報を提供するなどしている か	-	-	-			
25	児童発達支援センターや発達障害支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか	△	〇	〇			
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会があるか	×	×	×			機会を作ることができていない
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ているか	〇	×	△			
28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	〇	〇	〇			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレントトレーニング等の支援を 行っているか	×	×	×			
保護者への説明責任等							
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	〇	〇	〇			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	〇	〇	〇			
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援し ているか	△	〇	〇			
33	子どもや保護者からの苦情について対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応してい るか	-	〇	〇			
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	〇	〇	〇			
35	個人情報に十分注意しているか	〇	〇	〇			

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-

スタッフ氏名		A	B	C	D	E	コメント
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	○	○			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	△	○	○			
非常時等の対応							
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	○	△	△			見える化ができていない
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	×	○			
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	○	×	△			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	-	×	×			詳しい知識が取得できていない
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	△	○	○			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	△	×	△			

施設・地域における障害者虐待防止リスト

体制整備チェックリスト はい/できている・・○ いいえ/できていない・・×

スタッフ氏名	A	B	C	D	E	
規定、マニュアルやチェックリスト等の整備						改善の方向性
1 倫理綱領、行動規範等を定めている。	○	○	○			
2 倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができている。	○	×	×			きちんと会議などの時間がとれていない
3 虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している。	○	×	×			
4 虐待防止マニュアルやチェックリスト等について職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	×	×			活用できていない
5 緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続き、方法を明確に定め、職員に周知徹底するとともに、活用している。	×	×	×			口頭のみで、きちんと方法などは決めることができていない
6 身体拘束について検討する場を定期的に設けている。	×	×	×			会議などは出来ていない
7 緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者(家族)に説明を行い、事前に同意を得ている。	×	×	×			書面などでの確認、同意は取れていない
8 個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	○	○	○			
9 個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。	○	○	○			
職員への意識啓発、研修						
10 職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	○	×	×			管理者のみ県の研修に行った
11 日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	○	○	○			
12 職員の虐待防止に関する意識、関心を高めるための掲示物などを掲示している。	○	×	×			
13 職員チェックリストの活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供などの状況把握に努めている。	○	×	×			定期的に行うことができていない
14 早期発見チェックリストの利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。	○	×	×			マニュアルなど決めることができていない

## 施設・地域における障害者虐待防止リスト

## 体制整備チェックリスト はい/できている・・○ いいえ/できていない・・×

スタッフ氏名	A	B	C	D	E	
外部からのチェック						
15 福祉サービス第三者評価事業を活用し、サービスの質の向上等に努めている。	×	×	×			
16 福祉サービス第三者評価事業を一定の期間ごとに継続的に受審している。	×	×	×			
17 虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている。	×	×	×			
18 施設、事業所の事業、監査において虐待防止に関わるチェックなどを実施している。	○	○	○			
19 ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	○	○	○			
20 実習生の受け入れを積極的に行っている。	×	×	×			該当者がいない
21 家族、利用希望者の訪問、見学は随時受けている。	○	○	○			
苦情、虐待事案への対応等の体制の整備						
22 虐待防止に関する責任者を定めている。	○	○	○			
23 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	○	○	○			
24 苦情相談窓口を設置し、利用者にわかりやすく案内するとともに、苦情解決責任者を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	×	○	○			
25 苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。	×	○	○			
26 職員が支援などに関する悩みを相談することができる相談体制を備えている。	○	○	○			
27 施設内での虐待事案の発生時の対応方法を具体的に文章化している。	○	×	×			
28 施設内での虐待事案の発生した場合の再発防止策を具体的に文章化している。	○	×	×			
その他						
29 施設において利用者の金銭および貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	○	×	×			預からないようにしている
30 施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	○	○	○			
31 施設経営者、管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。	○	○	○			

スタッフ氏名		A	B	C	D	E
32	施設経営者、管理者は施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	○	○	○		
33	利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。	×	×	×		
34	希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者、家族に説明を行っている。	×	×	×		
35	利用者・家族、一般市民やオンブズマンなどからの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	×	×	×		
36	虐待の防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている。	×	×	×		

地域における虐待の防止、早期発見・対応

はい/できている・・○

いいえ/できていない・・×

スタッフ氏名	A	B	C	D	E	改善の方向性
1 障害者(児)やその家族、地域住民等に対し、虐待の防止に関する普及・啓発を実施している。	×	×	×			掲示物などを行っていく必要がある
2 家族、地域関係者との連携と情報交換を積極的にいき、虐待の可能性のある事案の観察や早期発見に努めている。	×	×	○			
3 地域における虐待防止において、障害福祉サービス事業者(施設)などの事業者間の連携を図っている。	×	×	×			
4 地域における虐待防止について、相談支援事業者、地域自立支援協議会や行政機関と連携・協力(意見交換を含む)をしている。	○	×	○			会議や研修には積極的に参加している
5 虐待事案のみならず、福祉サービスの利用者等を含め、相談窓口を設置・広報し、地域住民の相談を受けている。	○	×	○			外部への発信ができていない
6 地域の障害者が虐待を受けた場合の積極的な受入れ(市町村からの依頼があった場合)を行っている。	×	×	×			
7 虐待を受けた障害者・児の受け入れとその支援に関するマニュアル等を一般のマニュアル等とは別に作成している(虐待を受けた障害者・児への支援)。	○	×	×			
8 虐待事案の疑いがある場合、もしくは発見した場合の相談支援事業者や行政機関等への連絡(通報)について手順等が具体的に文章化している。	○	×	×			
9 虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に直接訪問する等の対応を行う努力をしている。	○	×	○			現地点では事例はないが、準備は備えている
10 虐待事案の疑いがある場合、もしくは発見した場合に施設・事業所として迅速かつ一元的な対応が可能となる体制を事前に定めている。	○	○	○			